

中学校キャリア教育について

池田町教育委員会学校教育課

はじめに

池田町の人口は、23,500人強で町内に5小学校(組合含む)と1中学校が設置されており、令和2年度の児童生徒数2,096名内、中学生725名(令和3年1月現在)の生徒が1つの学舎で学んでいます。

町では、平成27年度から2名の非常勤キャリア教育コーディネーターを配置し、活動の充実を図ってきました。今回は、中学校のキャリア教育の中でも学年別の授業の一部を紹介させていただきます。

1年生 国際理解授業

ストーリーズ
「7物語」(10月2日)

外国人講師を招き、出身国の様子やその生活を聞くことで多様な文化や社会に触れる学習

講師 5カ国(アメリカ、フランス、チェコ、ベトナム、ネパール)の8人

授業 1クラス 1回25分×3講演(3カ国)

生徒の感想

- ・各国の現実的な環境を初めて知った。
- ・自分の知らない外国のことや歴史の関わりをもっと知りたい。
- ・チェコの歴史が勉強になった、もっと知りたい。
- ・ベトナム語を練習する時間があって、他の国の言葉も話してみたい。
- ・岐阜の良さを教えてもらった、改めて岐阜が好きになった。

講師勤務先事業所からの感想

- ・地域貢献の一環として、将来を担う生徒に、これからのグローバルな環境に役立てば幸せです。
- ・日本と海外の違いを話せる良い機会だった。生徒と話ことができ母国への思いが強くなった。



2年生 勤労体験

「実際に仕事をしてみよう」(10月29日)

生徒が町内の事業所に赴いて実際に仕事を行うのですが、今年は事業所の協力を得て、学校での職場体験学習を行いました。

参加事業所 4事業所(金融機関、製造業、飲食店、多機能サービス事業所)

授業 1時限のうち35分を事業所紹介と実習、15分をまとめ、1時限をふりかえり

金融機関 行員新人研修を利用したスキル研修

製造業 商品梱包材の組み立て作業

飲食店 料理の給仕、接客マナー

多機能サービス事業所 電線部品の組み立て作業

生徒の感想

- ・銀行の仕事について聞き仕事に責任と誇りを持つことは、どの仕事でも人との関わりがあるから大切なことだとわかった。
- ・お客さんのことを考えて仕事をしていることを一番学んだ。
- ・一番大事に思ったのは、言葉遣いと笑顔。
- ・自分の作ったモノが知らない誰かに届く時、その相手のことを考えて真剣にやらないといけないと感じた。



3年生 身近な社会

「15のREAL」(9月29日)

15人の職業人から直接話を聞き、自己の生き方を考える。勤労観・職業観を育む

講師 専門農家（主にトマト）、専門農家（ブルーベリー生産販売）、製造販売（清酒・杜氏）、飲食旅館業、料理人（フードコーディネーター）、建築士、薬剤師、看護師、新聞記者、美容師、アクリル画家・手芸キットデザイナー、地域おこし協力隊員、フリーアナウンサー、弁護士、保育士

授業 2時限の間に各講師20分程の講話を3回して頂き、生徒が自由に講話に参加する形式で、生徒一人が3名の講師より話が聞けるよう計画実践

生徒の感想

- ・失敗した経験は、無駄じゃない。人生観を変えるものになるかもしれない。
- ・コミュニケーション力、笑顔、好奇心、やる気があればなんでもできる。
- ・勉強はなりたい職業の為にやるのではなく、これからの道を広げるためにやる。



おわりに

今回、池田中学校で実践されているキャリア教育の一部を紹介させていただきました。

コロナ禍における校外学習や学校行事が自粛される中、9月末から10月にかけて感染症対策をおこないながら実施することができたことに感謝します。特に2年生の職場体験については、例年地元企業協力のもと、3日間企業で職場体験をするのですが、学校での講話、実技指導となりました。実際の作業が体験できたことが就業に対する意識に変化を与えたと考えます。また、5カ国の講師による母国の話し、日本の良さ、岐阜の魅力を知ることができ感動を与えていただきました。

3年生の「15のREAL」は、今年で4回目の開催になりました。親や先生でもなく、初めて対する様々な職業人から、職業観や仕事の内容、経緯等を聞いたり・会話をすることによって、生徒からは主体的な態度の必要性についての意見がありました。今後も発達段階の課題を検証しつつ授業継続し、楽しく学べる環境の構築に努めて参ります。